

長尾満昭さんを悼む

平成27年明けの1月8日長尾満昭さんが突然お亡くなりになりました。突然とは言うものの前年の12月頃より少しずつ体調を崩されておられた様子でした。ご自分の体力に自信を持っていた方なのでそのまま過ごしておりましたが、今思うと、もっと早く病院に行かれていたらと思ひ残念でなりません。長尾さんと「なな山緑地の会」の活動については、会員の皆さまがよくご存知のことと思いま



すが、失礼ながらお年の割には機敏で、身のこなしが軽く、力持ちで、高所が平気という里山のボランティアには、うってつけの方でした。

やはり、若い時から古武術に慣れ親しんで体を鍛えて今の体をつく



られたからかと大変感心させられたものです。活動日には、いつも集合時間より早く来られ、私のような若輩者の話をよく聞いていただき、陰日向なく活動され、特に力仕事のような疲れる作業は率先して活動されておられました。何よりも環境を大切にされておられ、住宅が山側ではないにも関わらず、我々住民のなかでも一番熱心に活動されておられました。私も長尾さんに引っ張られて来た部分も多々ありました。これからも、長尾さんのご遺志を引き継いで「なな山緑地の会」の活動を続けてまいりたいと思っております。

高木直樹

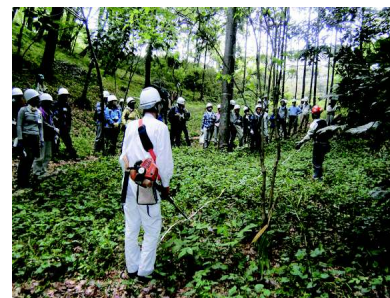
平成26年度なな山緑地の会総会開催

3月22日(日)9時15分よりUR百草団地第二集会所で、平成26年度なな山緑地の会総会が開催されました。出席23名と1団体、委任状19名、計42名と1団体(過半数)で総会は成立。議長に大井氏を選出しました。26年度活動報告、会計報告は意義なく承認。平成27年度役員改選では安全担当に出口氏の兼務、観察農園担当に高橋彰氏を選任し、他は留任することで異議なく承認されました。27年度活動計画(案)では、樹木の育成方法について長期的な活動計画を作成すべきという意見に対し、萌芽更新、植林などをこれからどう行うか皆さんの意見を聞いて長期計画を立案してその後に実施を決めることとしました。27年度予算(案)は意義なく承認されました。質疑応答では、重量物(伐採した材など)の運搬にエンジン付きクローラー運搬車を購入したいという意見に対し賛否両論があり、今後さらに検討していくこととしました。住崎氏の閉会の言葉で10時20分無事終了しました。

(鎌田)

第14期グリーンボランティア講座開催

4月25日(土)9:30~15:00。森木会主催の第14期グリーンボランティア講座が、講習生28人を迎えてなな山で行われました。当日は晴れ、初夏のような気持ちの良い日でした。新緑の中で阿部市長、高木会長の挨拶、住崎さんの雑木林と農業の話、公園緑地課の菊地さんの緑行政の話がありました。その後、相田さんの案内で西の谷から東の山までを歩き、山による植生の違いを確認し、今咲いている花を観察しました。午後は川添森木会会長の講義の後、鎌を使っての草刈りと道づくりの実習、須田さんによる刈払機のデモンストレーションが行われ、道具の安全な扱い方を学習しました。最後に鎌の研ぎ方を学んで終わりました。「なな山へ自由に来てもいいんですか」との声も聞かれ、皆さん大変満足の様子でした。(中原)



多摩第二小学校3学年による「なな山学習」 なな山で学ぼう!!

フキノトウが顔を出し、シュンランの蕾がふっくらとして春が見え隠れする3月6日(金)、多摩第二小学校3年生の児童が総合学習の時間をなな山で過ごすこととなり訪れました。

100人を超える児童を大きく4班に分け、釘打ち体験と身近な里山の様子を学ぶというものです。私の担当コースではまず初めに落葉



囲いを見てもらいました。囲いの中に何が何のために入っているのか…そんな問いかけに、元気よく答えてくれる子どもたち。「カブトムシのため〜!!」そういった声もありました。子どもの目線になると、腐葉土は畑に使うということよりカブトムシなのかもしれません。子どもたちに説明をすると、なるほど!といった表情をしていました。

また、常緑樹と落葉樹を実際に見比べてもらう場面、スギとヒノキの見分けかたを知るために実際にヒノキの葉のY文字を見てもらったりもしました。シイタケのホダ木での原木栽培からスーパーの菌床栽培シイタケとの違いにも触れて、実際に軍手を外して優しく触ってもらいました。「思ったよりもしっかりしている」と子どもたち。観察はそんなに長い時間ではありませんでしたが、なな山にある色々な物の一つ一つに関係性がある、大切なのだということ、そして役割を学べたと思います。

その後の釘打ちでは木の年輪を工夫した想像力豊かなアート作品が満載でした!!

今回の「なな山で学ぼう」の授業で、私としては、教科書から学べない多くのものをたくさん感じてほしいと思っていました。しかも、身近な多摩市の里山で本物を目にして、触って、音を聞いて…子どもたちの五感を育むことが出来るようなことはとても素晴らしい時間だと思います。



こういった学びの環境作りが、なな山緑地の会員の手で維持されていることはとても素晴らしいと思います。また、他の季節にも学びにきてもらいたいと思います。お土産に持ち帰ったコナラのドングリが第二小学校で元気に育ちますように。

(高澤)

「雑木林の中でロープを使って遊ぼう！」 が開催された

2月14日(土)なな山緑地で、「多摩市GV雑木林保全の会」主催の「ロープを使って遊ぼう」が開催されました。9時30分、たま広報やポスターでの募集に応募した参加者が集まりました。子ども13名、保護者6名、計19名です。事務局から注意事項など説明のあと、ロープ講師の松浦さん、工作講師鈴木さんが紹介され、早速スタートしました。西の山にターザン、ブランコ、綱渡りなど種々のロープがセットされ、子どもたちは遊びに夢中になっていました。なな山のスタッフ11人も子どもたちを見守りながら一緒に楽しみました。お弁当タイムにはなな山名物の温かいトン汁を配り「トン汁最高!」と声がかかるほど好評でした。午後からは、小枝を使ったモビール作りの工作。子どもたちは指導講師の説明を聞いて熱心に取り組んでいました。風もなく、気持ちの良い冬晴れのなな山緑地に子どもたちの笑顔と歓声があふれて良いイベントになりました。

(鎌田)



ターザンロープで遊ぶ

なな山の植物 -3

カラスビシャク 烏柄杓 サトイモ科

- 昨年、西側法面で新しく見つかったカラスビシャクです。
- 10年間、気がつかなかったのか、10数年経って初めて
- 成長したのかわかりませんが、花びらのように見える
- ものは仏炎苞で、その中からヒゲのように花の軸が伸び出ています。花
- は苞の中にあります。雄花は上方に、雌花は少し離れてその下に。葉柄の
- 下方にムカゴをつけ、これがこぼれて繁殖します。名前は仏炎苞をヒシ
- ャクに見立て、花の軸が黒く不気味なのでカラスを連想させることから
- でしょうか。先日、花を解体して観察しましたが、実やムカゴも後日観
- 察してみましょう。(中原)



ボランティア活動 - 私の動機 宮崎 裕

グリーンボランティア初級講座（第13期）を修了し、昨年の11月よりなな山緑地の会の活動に参加し、活動の内容が少しずつ見えるようになりました。現在では講座の同期生3名が会員に加わり心強く思っています。

在職中は仕事一辺倒だったので、仕事を離れた直後は、毎日何をして過ごせば良いか大いに戸惑いました。住んでいる地域の人々と殆ど関わりが無かったので、地域のボランティア活動をしようと思い、近くの多摩ボランティア・市民活動センターに通い、市民活動の紹介プレゼンテーションを聞いたたり、自分で調べたりして幾つか興味のある活動が目にとまりました。

「グリーンボランティア」に興味を湧いたのは北海道の知床半島の根元にある斜里から一里ほど内陸の牧場の自然の中で幼い頃育った経験や、庭木や花が好きだった親父の影響で次第に植物が好きになり、グリーンに関わる事に憧れていたように思います。講座の存在に気付いた時にはその期の初級講座が既に進んでおり、木育に関する展示会に併設されたおもちゃ病院に参加した時に、グリーンボランティア初級講座の追加募集がある事を知り慌てて応募しました。

又、市民活動の紹介で「おもちゃ病院 Kebo」がある事を知りました。Keboは「ボケ」の反対で、「ボケない」という意味が隠れています。日曜大工や家庭小物をいじり回すのが好きだったので、その活動を見学させてもらい、直ったおもちゃを受け取る子どもの喜ぶ顔を見た時にドクターになりたいと思いました。初めは先輩ドクターが修理するのを横で見て勉強しますが、その後はやり方を見様見真似で経験を積み重ねて、ドクターになりました。最近では木工や機械式のおもちゃは少なくなり、殆どが電動式や電子式のおもちゃです。その構造や様式も日進月歩で電気や電子の知識が無いと不具合の原因追求や修理が出来なくなりつつあります。幸い仲間に電気・電子に強いドクターがいるので、教えてもらいながら修理をし、技術を習得します。年度末には、おもちゃ病院ドクターの養成講座があり、最新の情報や技術を学びます。おもちゃ病院 Keboは市内の児童館や公民館で主に土曜日に開院されますが、児童館・公民館・商店街でイベントがある場合は、日曜日や祭日にも開院する事があります。又、年に一度ですが、多摩市の友好都市である長野県富士見町の生活展に数名のドクターでおもちゃ病院を開院して、出張修理をします。閉院近い時間に持ち込まれた物や、不具合の修理が開院時間内に完了しないおもちゃは、入院をしてもらい担当ドクターが持ち帰り修理、又は、次回の開院時に修理して返却します。モーターやスピーカー等の部品を交換する場合は部品代（¥200 - ¥100）をいただきますが、修理費用は無料で活動しています。

石井栄美子

私が子どもの頃（昭和30年代）家庭の台所には竹で編まれたザルやカゴが普通にありました。みかんを入れたり、茹でた野菜の水を切ったり、魚が入っていた記憶もあります。規則正しく並んだ六角形が愛らしいあの入れ子のカゴです。最近ではステンレスやプラスチックにとって代わり、すっかり見なくなりました。なな山には、この材料となるアズマネザサ（以下シノダケ）がふんだんに自生しています。まさに宝の山です。

2014年秋より、めかい作りに参加することになりました。最初は活動中の「多摩めかいの会」の方々のお手伝いにスタッフとして、体験しながら関わるというものでした。採取の当日、大勢の皆さんと東の山へ入り、先生よりシノダケの選び方を教えていただきました。1年ものの節目の長い真っすぐなものを3~4本切り出しました。次に長さを決めてヒネ作り。まず、めかい包丁でシノダケを四つ割にし、その一方を口にくわえ、指先を絶妙に動かしながら皮を剥いていきます。道具の使い方と力の加減が難しく、厚くなったり細くなりすぎたり、コツをつかむのは容易ではありません。見るのとやるのは大違い。このヒネ作りが作品の出来具合を左右することも知らず、最初から挫折したくないとの思いで必死でした。家に持ち帰った分を何とか捌き、テキストを見ながら小さいものを編んでみました。やっとコースター程度に仕上がりと息をつきます。指先はこわばり、切り傷だらけで血がにじみ、お風呂のお湯が染みしました。

昔の農家の方々が農閑期に大量に作り、大切な収入源にしていたことに思いを馳せながらも、知恵と工夫と根気強さに頭が下がります。時代が変化しても、自然の手作りの温かさと目の揃った風合いの美しさに心ひかれています。当面の目標は、ヒネを上手く作ること、編み方の手順を何度も繰り返し覚えること、そして使えるカゴを作り上げることです。現在まで3個ほど完成しましたが、すでにこの世にいない両親は、私のいびつなカゴを見て何と言うでしょう。「まあ、上手に出来たわね」と。これも里山保全の一助となるのでしょうか。皆さんも、なな山の伝統工芸を支える活動に参加しませんか？



石井栄美子制作

なな山日記 (活動・観察記録)

<p>No. 259 2014年12月23日(火) 晴れ 気温5.6℃ 参加者 21人 仕事納めの豚汁作り。交付金で購入した連絡会のチップー試運転。  ●作業/樹木調査。バス停付近の草取り。丸イスの修理。正月飾り制作。チップーで作ったチップをぬかる道へ敷く。</p>	<p>No. 260 2015年1月11日(日) 晴れ 気温6.4℃ 参加者 28人 長尾副会長ご逝去の訃報。長瀬さん、山崎さん入会。「なな山だより 33号」配布。 ●作業/山始めの神事。樹木調査。くず掃き。入口の柵修理。堆肥囲いの修理、新設。草刈り。 ●観察/コナラの幹の窪みにネズミモチが生え出ているのを発見。キチジョウソウの実が赤く色づいていた。</p>
<p>No. 261 2015年1月25日(日) 晴れ 気温10.6℃ 参加者 25人 晴れて暖かい活動日和。坂巻さん入会。 ●作業/樹木調査。くず掃き。草刈り。コナラの伐倒。植物の名札作り。タマネギ養生。 </p>	<p>No. 262 2015年2月8日(日) 曇り後雨 気温4℃ 参加者 21人 高橋通枝さん入会。雨のため午前中で活動中止。 ●作業/樹木調査。くず掃き。ホダギ用コナラ伐倒。伐倒木の処理。タマネギ養生。 </p>
<p>No. 263 2015年2月22日(日) 曇り 気温7℃ 参加者 11人 雨が上がったため、午後も活動続行。 ●作業/くず掃き。伐倒木の処理。木片、小枝など二小の工作用材料集めと加工。チェーンソー目立て。 ●観察/広場のウメが満開。 </p>	<p>No. 264 2015年3月15日(日) 曇り後晴れ 気温24℃ 参加者 17人 3月8日の振替え活動日。 ●作業/クヌギ苗掘起し。シイタケ用クヌギのホダ木準備。観察農園の雑草取り、耕耘機かけ。クヌギ伐倒。 ●観察/クヌギ伐倒中、太ったタヌキが出没。 </p>
<p>No. 265 2015年3月22日(日) 晴れ 気温13℃ 参加者 26人 平成26年度総会開催。 ●作業/樹木調査、シイタケ菌打ち、仮伏せ。伐倒木の玉切り、片付け。玉切りした材でイス制作。ジャガイモ植付け。シイタケ収穫。樹木の名札付け。 ●観察/池でトンボのヤゴ発見。シュンラン、ウグイスカグラ、ニオイタチツボスミレ、オオアラセイトウなど、早春の花が咲き出した。</p>	<p>No. 266 2015年4月12日(日) 晴れ 気温17℃ 参加者 25人 多摩市によりなな山の新しい看板が設置された。古川さん入会。 ●作業/樹木調査。備品棚卸しと倉庫の整理整頓。伐採木の玉切り材の運び出し。植物観察と養生。中の山階段修理。 ●観察/マルバアオダモ、ヤマコウバシ、マルバスマシレ、ヒゴスミレ、タマノカンアオイの花が咲き、ヤマザクラは散っていた。 </p>

なな山で行われたイベント

- ・1月20日27日、2月3日17日、3月3日17日、4月7日(火)めかいクラブ、多摩めかいの会の活動
- ・2月7日(土)、4月29日(水)南鶴牧小学校「なな山観察会」
- ・2月14日(土)多摩市GV雑木林保全の会主催「ロープを使って遊ぼう」
- ・3月6日(金)多摩第二小学校3学年による「なな山学習」
- ・4月25日(土)多摩市グリーンボランティア連絡会主催グリーンボランティア講座

なな山だより 第34号 2015年5月10日発行

- 発行 　　なな山緑地の会
発行責任者 　高木直樹
住所 　　多摩市和田 1394-13
ホームページ <http://www.geocities.jp/nanayamaryokuchi/>
編集委員 　鎌田文雄 　中原君代